

日本語による  
近代ギリシャ文学・語学文献目録 (6)

佐藤 りえこ・橘 孝司

荒木 英世

(1995) 『聴いて、話すためのギリシア語基本単語 2000』 語研.

井浦 伊知郎

(1996) 「バルカン諸言語の関係節における重叙代名詞の役割」  
『プロピレア』 8, pp. 31-45.

石岡 精三

(1997a) 「現代ギリシャ語における方言差異について  
—素性[+focus], [+topic]と[+wh] に関連して—その 1」  
長岡技術科学大学『言語・人文科学論集』 11, 1-29.

(1997b) 「現代ギリシャ語における方言差異について  
—素性[+focus], [+topic]と[+wh] に関連して—その 2」  
長岡技術科学大学『言語・人文科学論集』 11, 31-63.

浮田 三郎

(1996a) 「現代ギリシア語の授業：広島大学」 『プロピレア』 8, pp.59.

(1996b) 「日本語と現代ギリシア語の《友》に関する諺対照研究」  
『プロピレア』 8, pp. 71.

杉山 世民

(1996) 「新約聖書ギリシア語を現代語式発音で教えることについて (二) :  
大阪聖書学院」 『プロピレア』 8, pp. 60-62.

周藤 芳幸・村田 奈々子

(1997) 『250語でできるやさしい現代ギリシア会話』 白水社.

橘 孝司

(1996a) 「ポスト・ビザンツ期の現代ギリシャ語文法書と辞書－複合前置詞の記述－」 『広島大学留学生センター紀要』 7, pp.64-73.

(1996b) 「Κατὰ καρδίας 『心に対して』－ある前置詞句の定型表現化－」 『プロピレア』 8, pp.15-30.

(1996c) 「現代ギリシャ語学・文学研究のためのコンピュータ利用」 『プロピレア』 8, pp.68-70.

中井 久夫

(1998) 「リッツォス詩編」 『象形文字』 91号, pp.12-15. ◆「感覚の階調」「正午」「鋳型」「一心に集中の時」を含む.

野中 夏実

(1996) 「西洋古代地名・人名のカタカナ表記をめぐって」 『プロピレア』 8, pp.54-58.

福田 千津子

(1997a) 『集英社世界文学大事典』 第3巻、集英社

◆「テルザキス」、「ナク」、「パバジアマンディス」、「バラマス」、「ブシハリス」、「プレヴェラキス」、「コスマス・ポリティス」、「ニコラオス・ポリティス」の項.

(1997b) 『集英社世界文学大事典』 第4巻、集英社

◆「ミリヴィリス」、「メラス」、「ラスカラトス」、「ランガヴィス」、「リガス=ヴェレスティンリス」、「リッツォス」、「ロイデイス」の項.

(1997c) 『語学王 現代ギリシャ語』 三修社.

(1997d) 訳: Y.クサンスリス 『さくらんぼのお酒』 講談社

◆Y. Xanthoulis, *Dead Liqueur*.

宮村 嘉道

(1997) 「『序文』としての役割を果たす『スミルナの棧橋』で」『言語と文学』第33号, pp. 40-51 ◆ギリシャ・トルコ戦争の際『スター』紙の特派員としてコンスタンチノーブルに赴き書いた小品についての考察.

山口 喜雄

(1996) 訳: V・ヴァシリコス「ある愛の物語」『プロピレア』8, pp. 72-74.

◆B. Βασιλικός, Μια ιστορία αγάπης, *Το τελευταίο αντίο*, 1979.

(1997) 「世界中で使われているギリシア語」「ギリシア人の『名前』の付け方」『ギリシア—都会の誘惑、島めぐりの極楽』ヨーロッパ・カルチャーガイド⑧トラベルジャーナル.